

委員会レポート

閉会中の各委員会活動状況

総務

「企業立地課」 「いづも課」設置

2月17日 協議会開催

組織機構改革で、企業立地課を新設し、幼保一体化を見据え、児童課をこども課に名称変更する。

Q 企業誘致課としなかった理由と、その違いは。

A 特に違いはない。新産業誘致をすすめ、町独自の情報網を生かし、産・学・官と連携しすすめる。

Q 組織と人員体制は。

A 課長、グループリーダーとあわせ数人を配置予定。少年少女発明クラブを立ちあげ「ものづくりの町」

をPRしていく。

Q 「いづも課」どうかわるのか。

A 義務教育前の諸手続きを一括して取り扱う。

「えこたんバス」に決定
「コミュニケーション」の愛称

Q 愛称の応募状況は。

A 全応募数は886通。「えこたんバス」は72通。

Q 運行ルート、バス停などの要望は聞いたか。

A 地域、学校、福祉関係など、さまざまな意見を聞き、反映した。



使用済み小型家電製品の回収始まる

産業建設



家庭用燃料電池システム

2月15日 協議会開催

使用済み小型家電に含まれる貴金属やレアメタルの回収に向け、資源拠点回収場所で4月から開始する。

Q 回収目標と効果は。

A 年間3トンを見込む。資源化により、約9万円の経費削減と粗大ごみ集積処理場の混雑の緩和を期待。

Q 対象品目は。

A デジタルカメラ、電子辞書、ゲーム機など国の16推奨品目を参考に回収し、順次拡大したい。

Q 分別ステーションでの収集は。

A 今までどおりの分別収集も可能だが、拠点回収場所でお願したい。

家庭用燃料電池
に補助金

地球温暖化対策の一環として、太陽光発電システムに加え、家庭用燃料電池システムに補助する。

Q 24年度新エネルギー補助の内訳は。

A 太陽光発電システムに100件分1200万円、燃料電池システムに10件分15万円を予定。

わしだ保育園 増改築の基本構想示す

文教福祉



わしだ保育園全景

2月14日 協議会開催

園の老朽化、園児増を見込み、平成25年度完成をめざし基本構想が示された。

3歳以上児用2室、未満児用1室などを増築する。

東門を閉鎖し東側の園庭に遊具、砂場を移設。西門を新設し、24台分の駐車場を設置する。

Q 園庭の一部が駐車場となる。園児の安全は。

A 高いフェンスを設ける。

Q 南側に増築棟ができる。

A 既設棟の明かりは十分か。

A 中廊下を幅広とし、採光や通風をとっていく。

Q 増える園児数は。

A 約50人を予定している。

Q 高齢者福祉計画(案)などを協議

A 平成24年度から平成26年度までの、高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障がい者計画が策定される。

Q 関係者の意見を聞いているか。

A アンケート調査、パブリックコメントを実施してきた。

Q 特別養護老人ホームへの待機者が多いが対策は。

A 平成26年度に建設予定計画をすすめていきたい。

防災対策

災害時に使える避難所どうする

2月10日 協議会開催

町防災計画修正検討委員会の協議内容。相互応援協定などを協議。

Q 検討委員会に教育委員会も加え、防災教育を。

A 教育委員会も入ってもらえるように話します。

Q 町全域が災害時、要援護者で登録していない人はどうする。

A 役場に名簿がある。ワケンボ遅れるが。

Q 災害時相互応援協定の相手は。

A 東北、深溝松平と縁の深い島原市など。

Q 災害時に避難できぬ避難所がある。どうする。

A 安全第一。状況によっては屋外避難もある。

Q 災害ボランティアの受入部署、連携は。

A 名称も考えていく。駐車場は。

特別委員会レポート

総合開発

駅前共同店舗 4月下旬オープン

2月9日 協議会開催

幸田駅前Aブロック共同ビルの概要、相見駅完成式典の実施を協議。

Q 6店舗の名称は、組合形式でいくのか。

A 6店舗が連携することが共同化の目的。合同で意見調整をし、その中で

名称も考えていく。

Q 駐車場は。

A 現在の駅前商店街駐車場、商工会跡地、旧オリオン跡の3カ所を予定。

Q 幸田町の農業、商業の振興を図れる方針は。

A 町の農業、商業を発展させる起爆剤にしたい。

Q Aブロック商店街と周辺をまぎ込んだ施策は。

A 相乗効果を期待し、幸田駅前が街並として広がっていくよう施策を展開していく。

A 社協が受入れる。修正計画で記述する。



工事がすすむ幸田駅前